



秋市立小川小学校

小川っ子だより

第7号

令和元年 9月24日

お・・思いやりのある子

か・・がんばり続ける子

わ・・わかる喜びを感じる子

令和元年度保・小合同秋季大運動会 「絆 ～心を一つに 最後まで～」

—会場設営等へのご協力やご声援、ご参加 本当におありがとうございました—



9月15日(日)、運動会が開催されました。昨年度とは違い、天候の心配は全くありませんでした。



前々日準備の金曜日には、分園の保育士と小学校の教職員、保小の保護者の方で、テントの組み立てや入場門設置等の作業を行いました。また、当日の7時30分からは、テント立てや得点板設置等の会場設営を、**保育園と小学校の保護者の多くの方のお手伝いを得て、8時過ぎには無事終えることができました。手際の良さに感動しました。**

運動会の当日を迎えるまでに、7月の暑い時期から運動会に向けての準備が始まっていました。保育園からは、太鼓の音に合わせて元気なかけ声が聞こえてきました。運動場では、徒競走の練習もしていました。小学校も、夏休みから応援団の児童が集まって、応援や応援合戦の計画を立て、ダンスやパフォーマンスの練習をしてきました。また、2学期になり、本格的な練習が始まりました。園児も開閉会式やダンス等の合同練習では、先生の話をしっかり聞き、動きをすぐに覚えました。児童は、高学年を中心にリーダーシップを発揮して、次第に赤組も白組も団結していきました。また、子ども達は指導されたことをお互いに声を掛け合いながら、次への活動に活かしていく場面も多く見ることができました。



午前9時。1年生3人による「開会宣言」で、運動会の開始。子ども達は、「絆 ～心を一つに 最後まで～」のスローガンを、全身全霊で最後まで表現してくれました。『徒競走』では、ゴールまで全速力で走り抜きました。『パワー全開! 2019』では、大声を発しながら綱を引き合い、3回戦までもつれました。『一輪(イチリン)ピック』では、ビギナーコース・チャレンジコース・スペシャリストコースのそれぞれの子ども達が自分の持てる技を練習以上に発揮してくれました。



『応援合戦』では、赤も白も、見事なパフォーマンスを演じきり、自分たちの士気を高めることはもちろんのこと、会場全体を盛り上げてくれました。『P.A.R.T.Y ～ユニバース・フェスティバル～』では、分園と小学校にいる園児・児童と、保育士・教職員で楽しく踊ることができました。最後の『燃えろ! 赤白対抗リレー』では、バトンリレーを練習した成果が見事に発揮され4チームともスムーズにバトンを渡し、抜きつ抜かれつのデッドヒートを繰り返しながら、大熱戦を演じました。閉会式での得点発表は、大太鼓の音と共に、「百の位」と「十の位」が入れられ、「一の位」に子どもたちやご観覧の皆様からの歓声が上がりましたが、「白組188点」「赤組187点」と、僅か1点差で白組の優勝となりました。



『応援合戦』では、赤も白も、見事なパフォーマンスを演じきり、自分たちの士気を高めることはもちろんのこと、会場全体を盛り上げてくれました。『P.A.R.T.Y ～ユニバース・フェスティバル～』では、分園と小学校にいる園児・児童と、保育士・教職員で楽しく踊ることができました。最後の『燃えろ! 赤白対抗リレー』では、バトンリレーを練習した成果が見事に発揮され4チームともスムーズにバトンを渡し、抜きつ抜かれつのデッドヒートを繰り返しながら、大熱戦を演じました。閉会式での得点発表は、大太鼓の音と共に、「百の位」と「十の位」が入れられ、「一の位」に子どもたちやご観覧の皆様からの歓声が上がりましたが、「白組188点」「赤組187点」と、僅か1点差で白組の優勝となりました。



最後まで全力を尽くし演技・競技した子どもたちを誇りに思うとともに、感動に満ちた運動会でした。ご来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様には、最後まで温かいご声援をいただきありがとうございました。



今年も、運動会の日に、“小川ささえ隊”の人が、「独居老人の方に、保小合同運動会を観覧してもらおう。」ということ、企画されました。午前中の演技・競技をご覧いただきました。「子どもたちから元気をもらって幸せ」という言葉を残し、帰路につかれました。地域の方が保・小合同秋季大運動会を小川地域の元気の源と捉えていると思うとうれしくなります。ありがとうございました。